



国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ
2025-26 年度 第 9 回例会 (通算第 2699 回) 週報
2025 年 9 月 10 日 (水)

出席

会員 44 名 出席 25 名 欠席 19 名

出席率 65.78% (25/38)

修正前出席率 57.89%

修正後出席率 81.57%

欠席者【敬称略】

江崎・金見・小島・小林(千)・小林(裕)・嶋津・四宮・鈴木(秀)・鶴岡・林田・外崎・堀内・渡邊(元)

メイクアップ【敬称略】

9/5 財団室主催 地区ロータリー財団委員長セミナー
堀内

9/8 ガバナー補佐訪問 袖ヶ浦 RC
渡邊(慎)・佐藤

9/10 第 3 回会長幹事会
渡邊(慎)・吉田・倉島・松岡・佐藤・大里

例会

■司会進行

S.A.A. 大里光夫会員



◆点鐘

吉田和義会長

◆R ソング斉唱

「我等の生業」

◆四つのテスト

内田慎一郎会員



会長 吉田和義
幹事 倉島和広
会報・IT 活用委員会委員長 阪中昌司
副委員長 大岩もえ

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
ガバナー 時田清次
ガバナー補佐 渡邊慎司

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

吉田和義会長

第5グループガバナー補佐 渡邊慎司様

◆来訪ロータリアン挨拶

第5グループガバナー補佐 渡邊慎司様



皆さんこんにちは、自クラブでのガバナー補佐訪問として挨拶するのは、少し極まりが悪い感じがしますが、一言ご挨拶させていただきます。

今日はガバナー補佐の役目といますか、仕事についてお話しさせて頂きたいと思います。役目としましては読んで字のごとく、ガバナーを補佐する事ですが、地区ガバナーは地区全体に対してのリーダーであり、やはり一人では地区全体に気を配ることは大変に難しい事ですので、地区を14グループに分けて、各グループに補佐をする役目を置くことによって、ガバナーの意思を各会員に広く伝えていく事が可能になります。

ですので、ガバナー補佐の仕事はガバナーが地区で行いたい事、各クラブに対しての要望などを伝えていく事が仕事となります。ガバナー補佐会議にてガバナーからの要望を、グループ会議やメールにて各クラブの会長幹事に伝えています。

本年度において時田ガバナーはクラブの目標、マイロータリーと、ジャパンポータルサイトに記入してもらえるように各クラブに要望しています。先日吉田会長から本年度と来年度の目標をもらいましたので、ガバナーに報告をしたいと思います。また、できればクラブ全体で共有して頂きたいと思えます。

ジャパンポータルサイトの情報が各会員まで行き届いていない場合は、是非とも各会員にポータルサイトの情報を教えてあげて下さい。アクションプラン地区セミナーには坂出東RCの前田パストガバナーが映っていました。

毎年行われている地区大会についても、各クラブ会員に参加を促すのもガバナー補佐の仕事だと思えます。今年は10月12日(日)に東京ベイ幕張ホールにて行われますので、東クラブの皆さんも多くの参加をお待ちしております。

ガバナー補佐として参加する会議やセミナーは土曜日が多く、特に9月から10月は大変忙しい2か月間となります。ガバナー補佐訪問や地区委員会セミナー、地区大会がありますの

で、無事に2か月を乗り切りたいと思います。

最後に、東クラブの皆さんにはガバナー補佐輩出クラブとしてご協力を頂くことが多くありますが、何卒宜しくお願い致します。

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、こんにちは。本日は9月第2例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、ロータリーでは9月を「基本的教育と識字率向上月間」と定めています。世界には、読み書きができないことで教育や仕事の機会を奪われている人々がまだ多く存在します。ユネスコでは識字を「日常生活で用いられる簡単で短い文章を、理解して読み書きできること」と定義しています。つまり、単に文字が読めるだけでなく、意味を理解し、活用できる力です。ちなみに日本の識字率は約99%とされています。これは世界的に見ても非常に高い水準ですが、残念ながら100%ではありません。

そんな識字について考えさせるのが、今年映画化された『35年目のラブレター』という作品です。これは、64歳から夜間中学に通い始めた男性が、亡き妻に感謝の気持ちを伝えるために、7年かけてひらがなを学び、ラブレターを書き上げた実話です。読み書きができるようになることで、彼は人生の最も大切な想いを、文字に託すことができました。

そしてもう一つ、識字と夜間中学をテーマにした少し古い作品があります。山田洋次監督の映画『学校』(1993年)です。田中邦衛さんが演じた「イノさん」は、50代になって初めて夜間中学に通い始めた男性。長年の肉体労働で体を壊しながらも、「文字を読めるようになりたい」という一心で学び続けました。

イノさんは、授業中に競馬の話をも熱弁したり、先生に恋文を書いたり、ユーモラスで人間味あふれる人物でした。しかしその背景には、「読み書きができないこと」による孤独や悔しさがありました。田中邦衛さんの演技は、その切なさや温かさを見事に表現していました。

この2つの作品に共通するのは、「学びに遅すぎることはない」というメッセージです。文字を学ぶことは、人生を語る力を得ること。誰かに「ありがとう」と伝えられること。未来に向けて「夢」を書き記せること。

ロータリーが掲げる「奉仕の理想」は、まさにこのような力を世界中に広げることだと思います。私たちの活動が、誰かの「初めての手紙」につながるかもしれない。そう考えると、今日の例会もまた、小さな一歩であり、大きな意味を持つ時間です。

どうか皆さま、今月は「文字の力」に思いを馳せながら、それぞれの奉仕活動に取り組んでいただければと思います。本日もよろしくお願いいたします。

◆幹事報告

倉島和広幹事



1. 第3回理事会報告

出席者 8名

<審議事項>

1) 2025年度8月収支報告の件

→承認されました

2. 幹事報告

- 1) 今月のロータリーレートは 147円となっております。
- 2) 来週、再来週は休会となっております。次回例会は10月1日(水)通常例会となっておりますので、お間違えないようお願いいたします。

3. 他クラブからのお知らせ

- 1) 坂出東RCより「活動計画書」が届いておりますので回覧いたします。

4. その他のお知らせ

- 1) 君津国際交流協会より「君津市国際交流会設立30周年記念事業への賛助金のお願い」が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 木更津市交通安全協会より「令和7年度秋の交通安全運動の実施について」が届いておりますので回覧いたします。

5. 回覧

- 坂出東 RC より「活動計画書」
- 君津国際交流協会より君津市国際交流会設立 30 周年記念事業への賛助金のお願い
- 木更津市交通安全協会より「令和7年度秋の交通安全運動の実施について」

◆委員会報告

◇ロータリーの友9月号紹介 雑誌・姉妹クラブ担当委員会

遠山誠一委員長



今月号では、RI国際ロータリー フランチェスコ・アレツツォ会長に関する記事が掲載されていますので、その内容から紹介します。

横組みの2ページから3ページには今月9月が「基本的教育と識字率向上月間」であることに因んだ会長メッセージが寄せられています。識字率(しきじりつ)とは、国や地域において、文字の読み書きができる人の割合を指します。日本や欧米は、ほぼ100%だが、途上国では50%に満たない国・地域があるとユネスコが報告しています。

アレツツォ会長は「教育は平和の構築であり、そのための支援活動は平和活動である」とメッセージで呼びかけております。教育を受ける機会を奪ってしまう戦争や紛争問題が世界各地で起きている現代、このメッセージは、きわめて重要な呼びかけと受け止めました。

7・8ページには、RI会長に任命された前後の様子が、8・9ページには、ご自身のプロフィールがそれぞれ掲載されております。そして、10・11ページには、吃音を抱えて人前で話すことに恐怖を感じていた自分を変えてくれたロータリーとの出会いが語られています。

そして、「ロータリーは誰かが何かをするのを見るために行く場所ではない、自分が何かをするためにかかわる場所であり、参加しなければならないのである」とのメッセージで記事は結ばれています。私自身に対してぐさりと指摘されているようで、思わず反省しました。

さて、日本では今月を「ロータリーの友月間」としていただきますので、本日はロータリーの友について、私なりに調べてみたこと、感じたことをお話ししたいと思います。

今年度から、ロータリーの友の表紙の印象が変わったと感じている方も入らっしゃると思います。過去2年は障害者アートの分野で表紙を飾っていましたが、今年度からはロータリアン(読者)から応募のあった作品の中から選定し表紙に掲載しているとのこと。

因みに今月号の「画家」は横組みの42ページに詳しく紹介されています。みなさんも絵に自信がある方は挑戦してみたいかがでしょうか。

また、縦組みの7ページの「この人を訪ねて」のコーナーで今月はモダンバレエ普及に活躍している川口ロータリークラブの森さんが紹介されていますが、毎号読むにつけ、多様な分野世界で多くのロータリアンが活躍されていることに、そして、それを見つけて記事にすることに唯々感心するしだいで

す。
続いて縦組み19ページの「ロータリーあるある相談室」は、かなり人気のコーナー記事だそうで、ロータリアンの相談に対して、その道の専門家であるパストガバナーがユーモア交えて答える内容で、思わず頷いたり、笑ってしまう様な名回答に出会うこともしばしばで、私からもお勧めします。

ロータリーの友、読みどころ満載ですので、ほんの少しの時間でも手に取り、目を落としていただきたいと思い紹介しました。以上です。

◇石田亨会長エレクト



会長エレクトの石田です。皆さんの方に、佐藤副幹事の方から次年度に向けたアンケートの協力のお願いが回っていると思います。今回、吉田年度でのアンケートというのがありますが、次年度もやっていきたいことがある中で、どうしても避けて通れない問題があります。1番、今後も例回数は36回前後とする方が良い。2番、元の例回数に戻した方が良い、この2つの案の方を重複しますが、今日参加されている方全員のご意見を参考にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。○だけじゃなくて、意見もあるという方は、書いていただければ、それも参考にします。回答者氏名を書いていただいで、テーブルの上に置いていただければ、後ほどこちらが回収しますので、何卒協力をお願いいたします。

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 内田慎一郎会員



○内田慎一郎会員

昨日、岩根小で大豆畑の消毒を行いました。会員の皆様にもお手伝いしていただきました。次回は10月半ばに枝豆に収穫を行います。期日はLINEにて連絡しますのでご協力お願いします。

○藤野宏治会員

先日、愛犬のロッキーが16才で旅立ちました。理事会に欠席などご迷惑をかけてしまいましたが、最後まで見送ることができました。当社の営業部長がいなくなりさみしいですが、しばらく部長不在となりそうです。

◆出席報告

親睦出席委員会 内田慎一郎会員

■例会アワー

◆卓話テーマ「クラブの財政状況について」

第5グループガバナー補佐 渡邊慎司様



先日第5グループ全体でアンケートを実施させて頂きました。ご協力を頂きました皆様に御礼申し上げます。ここでは貴クラブとグループ全体のアンケート結果について報告させて頂きます。

第1項目のクラブ活動に対する満足度について、全体的に満足している会員が少ない傾向にある様に思えます。どちらでもないという回答が多いのは、今後のクラブ活動への課題ではないでしょうか。

続いてクラブを変えていくべきかという問いに対しては、「変えていくべき」と「あまりそう思わない」との意見がほ

ば同数であり、現状を維持しつつ変えていくべき点は進んで改善していければ、さらに良いクラブになるのではないのでしょうか？

クラブ活動への参加度合いについては、積極的に参加している会員が多く見受けられますが、参加する優先度を見ると、「ロータリーが最優先」と回答された会員が一部となっており、やはり他の団体と同等の参加度合いが一番多い状況です。

ロータリーを続ける理由として、「生涯の友人、魅力的な仲間ができたから」と回答した会員が7割と最も多く、「人脈・事業機会が広がるから」「地域社会に貢献できるから」が約5割となっています。

入会を勧めますかという問いについては、「勧めない」という回答がお二人いらっしゃいますが、概ね勧めることに抵抗があるわけではないという結果になりました。

ロータリーの価値観については、やはり「奉仕」「親睦」と回答した会員が多く、ロータリーの目的を実践されていると感じました。グループ全体を見てもやはりこの2項目が7割から8割となっています。

ロータリー全般の情報の入手方法については、「ロータリーの友」「例会」からと回答された会員が多く見られます。「ガバナー月信」が3割と低い結果になっています。9月号のガバナー月信で時田ガバナーが、ロータリーの友をクラブで活用するように促していますが、当クラブは毎月「ロータリーの友」について発表しているため、会員が読む機会が増えていると思います。

ロータリーが果たしてきた貢献についてのアンケートでは、やはり「地域社会に対する貢献」が最も多く、続いてポリオ根絶が続いています。青少年の育成の回答が多いのも、BIG&Rの会による活動があるからではないでしょうか。

クラブ運営に対する関りについては、「絶対に関わりたくない」と回答した会員が一人もいなかったため良かったと思います。既に多くの会員が携わっているようで、クラブ全体として会員がそれぞれの役目を果たしているのではないのでしょうか。

最後に入会した理由については、やはり多くの会員が「知人や友人の紹介」と回答しており、ともにロータリーで活動してもらえそうな、知人や友人に声を掛けていく事が会員増強につながる第一歩だと思います。

今回のアンケートも参考にして頂き、ガバナー公式訪問におけるディスカッションの参考にして頂ければ幸いです。

◆吉田和義会長



会費と例会に関するアンケートをお願いしておりますが、配布から回収までの時間が短いため回答は一部の方からのみの状況です。本日はあくまでも途中の報告ということで、皆さんの参考になるようにと各テーブルに1部ずつ置かせていただきました。

昨日までのところで、14名回答をいただいております。クラブ全体で会員数44名、例会出席者が常時30名未満でほしいアンケート実施時に回答していただける方が28名ほどです。その中で14名だと、さすがにこれを全体の意見として公表するのは無理があるかなと思ひまして、閲覧用に1部ずつ配布とさせていただきます。

先ほど倉島さんからもお話しいただいたように、各テーブルに3部ずつ白紙の回答用紙を置いておりますので、この場でお書きいただいても良いですし、持って帰られてファックスいただくもよろしいかと思います。

前回2024年のアンケートの結果を見ると、例会場を変えれば良いのではないかというお話が出てきております。八芳園から変わった際、そこに関わった方は当然のように知っているとありますが、例会場選定には3つのポイントがあります。

まずは出席会員数分の駐車場確保、毎週水曜日に開けてもらえること、そして会場設営準備の問題がございます。結果として、この3点を満たすオークラになったということです。当時、林さんが在席されていたのでそう高くない金額で受けただいたという経緯がございます。このことを知らないと、簡単に会場を変えれば良いと言う話は出て来ないということをご承知おきください。

ガバナー補佐が冒頭にお話されたように、クラブにとって例会は様々で、準備を全て自分たちでやるということもあります。当クラブにあっては、現状備品は全て預かってもらい、設営・撤収の必要もないということもご承知おきいただければと思います。

前回の例会アワーでは、クラブの財政状況について、費用面にしばってお話いたしました。収入面のお話させていただ

くと、収入は「会員数×会費」です。このため、会員増強が大事であることは言うまでもありません。しかしながら今回、山田修平会員がご逝去されたことで、会員数が減少いたします。このような突然の会員数の減少にも耐えうる「会費」設定も大事であることを共通の認識としていただきたいと思います。

多くの方に回答をいただきたいと思いますので、まだアンケートに回答いただいていない方はぜひ回答をお寄せください。

◆点鐘

吉田和義会長

よいことの
ために
手を取りあおう

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

eastkisarazu-rc@nifty.com